

町会・自治会だより

しかはま

Vol.
28

令和3年9月

- 小学校跡地利用について
- 新校へ夢を託す
- 感染防止について
- 町自連・地区対等行事について
- 「さらめま新聞」の発行
- 鹿浜地区の都住建て替え
- 鹿浜住区センターがリニューアル
- 倉人公園 ● 人事異動

主催・発行/足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会
編集/編集委員会
鹿浜6-8-1 鹿浜区民事務所内
TEL 03-3853-2301



▲写真左より たがた直昭区議会議員、鹿浜昭区議会議員、近藤やよい足立区長、横田夏夫鹿浜地区町自連会長、野辺愼一同副会長、矢萩恵一誘致委員会委員長

北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の **跡地利用**について要望書を提出しました

令和2年12月25日に鹿浜地区町会・自治会連絡協議会（鹿浜地区町自連）から近藤やよい区長へ『鹿浜地域の小学校跡地にスーパーマーケット誘致と避難所の設置を求める要望書』を提出しました。

鹿浜地区町自連から横田会長、野辺副会長、矢萩誘致委員会委員長の3名で足立区役所区長室を訪問し、鹿浜昭区議会議員とたがた直昭区議会議員と一緒に地域の要望を近藤区長に伝えてきました。

要望書では、鹿浜地区町自連の18町会・自治会長の連名で、鹿浜地域にスーパーマーケットを誘致して生活の利便性を高めること、避難所の機能を持った施設を設置して地域の安全を高めることを要望しています。

次のページでこれまでの鹿浜地区町自連の取り組みを見ていきます。

鹿浜地区町自連の小学校跡地利用に対する取り組み

令和2年秋頃から北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合後の跡地利用について、地域で話し合いを始めました。

まず、両校学区の10町会・自治会長で懇談会が開かれました。その後、鹿浜地区町自連の役員会、18町会・自治会の全会長が集まる会長会議でも話し合いを行い、誘致委員会を設置して、鹿浜地域全体で協力して署名活動や要望書の提出に取り組んでいくこととしました。

話し合いを重ねて出てきた地域の意見を要望書にまとめて、去年の12月末に近藤区長に提出しました。

今年の3月の鹿浜地区町自連会長会議にて、区から要望書に対する回答の説明があり、意見交換を行いました。区からの回答は、要望書にあったスーパーマーケット誘致や避難所機能の設置について検討していくとのことでした。

また署名活動については、最終的に3,901筆の署名をい

ただき、4月に区に提出しました。

9月に鹿浜地区町自連会長会議にて、区より進捗状況の報告を受けました。

スーパーマーケット誘致については、道路付けや近隣の保育園等の周辺環境を考慮して安全性の観点から、鹿浜西小学校跡地への誘致を検討しているとのことでした。また避難所機能についても、同時に鹿浜西小学校跡地にて設置の可能性を検討しているとのことでした。また、北鹿浜小学校跡地については、複数の学校関係事業者ヒアリングを行い、文教施設としての可能性を検討しているとのことでした。

今後も鹿浜地区町自連は、区と意見交換しながら、小学校跡地利用が地域の意見を反映したより良いものになるよう取り組んでまいります。

鹿浜地区町自連の 小学校跡地利用に対する 取り組みの経緯

令和2年 11月14日 両校学区の10町会・自治会長懇談会
(鹿浜島町会・鹿浜古内町会・鹿浜靴屋町会・鹿浜団地自治会・鹿浜東町会・鹿浜押部町会・加賀町会・鹿浜五丁目団地自治会・鹿浜五丁目団地北部自治会・北鹿浜第二都住自治会)

11月26日 鹿浜地区町自連 役員会
11月14日の10町会・自治会長懇談会の話し合いを受けて、鹿浜地区町自連全体で協力していく方針を確認しました。

12月10日 鹿浜地区町自連 臨時会長会議
鹿浜地区町自連に誘致委員会を設置し、鹿浜地区町自連全体(18町会・自治会)で要望書の提出・署名活動を行っていくことを決定しました。

12月25日 区長へ要望書を提出

令和3年 3月4日 鹿浜地区町自連 会長会議
区より要望書に対する回答について説明を受けて、意見交換を行いました。

4月16日 区へ署名(3,901筆)を提出

9月1日 鹿浜地区町自連 会長会議
区より小学校跡地利用の進捗状況について報告を受けて、意見交換を行いました。

鹿浜地区町自連 誘致委員会委員長 談話

鹿浜西北部には長い問商店街やマーケットがなく、住民は車や自転車を使い、遠くの店まで食料品や日用品を買いに行きました。

近年高齢化が進み、片道20分から30分以上もかけて、徒歩やバスを利用して買い出しに行く人も増えてきました。「鹿浜地域にスーパーマーケットを……」というのが、私たち鹿浜西部、北部の住民の悲願でした。

昨年秋に「学校跡地にマーケットを」という話が持ち上がり、地元区議を含めて、学区の町会長自治会長が懇談会を持ちました。その中で、防災機能を持ったスーパーマーケットの設置を区に要望することにしました。その後、鹿浜地区町自連全体で要望と署名活動を行い、大勢の皆様から署名をいただきました。誠に有り難うございました。

近藤区長から、「その方向で進む」という回答をいただきました。今後は知恵を出し合い、良い方向で進むことを願っています。

(鹿浜地区町自連誘致委員会委員長 矢萩 恵一)

Check!

新校「鹿浜未来小学校」に夢を託す

令和元年5月、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会が発足いたしました。

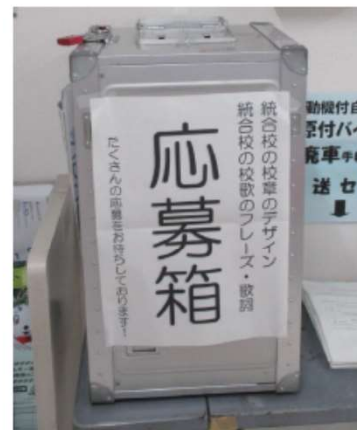
そして、新校設立のため、地域の声を伝えるべく両校から9名ずつの協議会委員が選出され、第1回から現在まで毎回熱心な討議が行われています。

新校舎の配置から設計、そして校名の決定と進んでまいりました。コロナ禍の折から、会議が延期になったりもしましたが、校名はたくさんの応募の中から、最終的に協議会委員の多数決を経て、「鹿浜未来小学校」を選定いたしました。未来に向かって大きく羽ばたいて欲しいとの願いのこもった校名となりました。

現在は、旧鹿浜中学校の解体工事も無事に終わり、跡地には雑草が生い茂っておりますが、新築工事の着工を待つばかりの状態となっています。

6月に募集した校章・校歌も年内には決定している予定です。

来年には完成予定の新しい校舎を夢見て、それにふさわしい校歌・校章が決まることを期待しております。（統合地域協議会会長 野辺 陽子）



▲区民事務所に設置されていた校章・校歌の応募箱

Check!

新型コロナウイルス感染症への取り組み

令和2年初頭から世界的に猛威を振っている新型コロナウイルス感染症により、東京都では4回目の緊急事態宣言が、令和3年7月12日から9月30日まで発令されました（令和3年9月10日時点）。

緊急事態宣言下の東京都では、感染拡大防止のため都民に向けては自粛の要請、飲食店や大型商業施設等に対しては休業要請や時短要請などが実施され、都民の暮らしに大きな影響を与えました。

そのような中で新型コロナウイルスに対して有効打となりうるワクチン接種が開始されました。

足立区では、まず65歳以上の方を対象とした集団接種の予約を5月6日から開始しました。当初は電話とインターネットのみの受付でしたが、途中からサポート窓口が開設されてインターネットが苦手な方でも予約できる

ようになりました。区の集団接種と並行して、5月中旬からは区内各医療機関での個別接種、6月末からは区役所庁舎ホールでの大規模接種が開始されました。その後64歳までの区民の方も順次ワクチン接種が受けられるよう調整が進んでいます。

さらに国の方では、大規模集団接種（千代田区大手町）や、会社ごとの職域接種も進められてきました。

このように区・都・国により、スピーディーにワクチン接種ができる体制づくりが進められてきています。

コロナ禍においては、行政がワクチン接種や感染拡大防止に取り組んでいくことに合わせて、地域においてもマスクの着用・手洗い・咳エチケット等で身近なところから感染拡大防止していくことが大切です。

「しかはま」編集者の コロナワクチン 接種体験



▲インターネットの予約画面

「しかはま」編集者の中で2回の接種が終了した方の接種体験を紹介したいと思います。

あくまで個人の体験ですが、今後接種される方の参考になればと思います。

足立区の65歳以上の高齢者に対する新型コロナワクチン接種が順調に進んでいます。65歳以上の私は7月前半までに2回の接種を終えました。

副反応としては、1回目は腕を上げると痛みを感じる程度で、2日目で解消しました。

2回目は翌日に38度の発熱と倦怠感を感じ、夕方には寒気もしてきたため、その日はゆっくり休んで早めに寝たら翌日には症状は治まっていました。

メディアなどで伝えられている副反応でしたので大きな不安はありませんでした。ともあれ、接種することでの安心感は得られました。

Check!

鹿浜地区町自連・地区対等の行事について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下の行事が中止となりました。
今後の他の行事につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止となる場合があります。

- ・町自連宿泊研修（中止）
- ・連合運動会（中止）
- ・ラジオ体操大会（中止）
- ・鹿浜すこやかネットワーク（中止）
- ・合同音楽会（中止）
- ・スポーツカーニバル（中止）

コロナで縮む各団体の地域活動

昨年来のコロナ禍は経済活動、学校活動などの停滞だけでなく、各種地域活動の制約にも及び、私たちの生活に大きな影響を与えています。

当たり前に行われていたことが突然行われなくなるという経験したことのない事態となっています。

保護司や民生・児童委員のみなさんの活動においても対象者の方との面接、面談も行われなくなっています。

多くの町会・自治会においても不要不急の会合は取り止め、行事等はほとんど中止となっています。子ども会、地少協、地区対等の青少年育成団体の活動もままならない状況が長い期間続いています。

地域の夏祭り、花火大会、お盆など季節行事の取り止めが子どもたちの情操にどのような影響を与えていくものなのかは分かりません。スポーツに関しては、各種施設の貸出使用も中止または大幅に制限され体を動かす機会が少なくなっています。生涯スポーツの時代、一日も早くスポーツを楽しめる日が来て欲しいものです。



▲大きく息を吸って……。緑一杯の公園での筋トレ

その中で、野外で行われる「パークで筋トレ」は、感染防止に配慮しながら引き続き行われており、シニア層の方が体操、軽い筋トレ種目に取り組まれています。

各種団体・町会・自治会も今後の見通しがつかず運営に苦慮しているのが実情です。

コロナで委縮してしまった活動と大きく変化した人々の心を再び立ち上がらせることができるのか難しい課題ですが、地域の住人として私たちも傍観者とならずより住みやすい町づくりに協力していきたいものです。

（副編集長 矢萩 敏隆）

町会・自治会の行事が再開できるようになることを願って



▲例年の茅の輪くぐり

2021年半年が過ぎましたが新型コロナウイルスの感染は一向に終息が見えず、4度目の緊急事態宣言が発令される事態になってしまいました。ワクチンの接種も自治体によって違いはありますが、進んでいるようです。

しかしこの影響によって我が町会・自治会の伝統行事である神事やお祭り、その他のイベントは全て中止になるという異例の事態となりました。

毎年6月30日に島氷川神社に6町会（椿・鹿浜東・堀之内・鹿浜古内・鹿浜糺屋・鹿浜島）の代表者が参加して半年の心身の穢れを祓い、残る半年の無病息災を祈願する「夏越の祓（茅の輪くぐり）」。押部町会主催の「百万遍」、これも無病息災、家内安全を祈る古代より伝統の神事であり、大きな数珠を多数の人が両手で握り「なむあみだぶつ」と唱えながら廻すという行事です。他にも「梵天祭」、また夏の風物詩でもある太鼓と音頭で賑わう納涼盆踊り等々、人が集まる接触の場が少なくなって淋しい町会・自治会となっております。

コロナが終息して今までのような普通の生活に戻れる日が早く来ることを願いたいものです。

（編集委員 坂井 孝夫）

Check!

皿沼町会が発行している『さらぬま新聞』

さらぬま新聞は、皿沼町会の広報誌として2014年11月の創刊準備号発刊から続いている町内新聞です。同年皿沼町会長横田夏夫氏の発案により、広報部の創設となり以来年2回の発行を目標に活動を続けております。

町内の行事を中心とした内容のため、総会行事・盆踊り・各部の行事の紹介等の掲載で推移しておりました。ご多分に漏れず新型コロナによる緊急事態宣言等により行事が相次いで取りやめとなる中、総務部・広報部の部員から掲載事案の提案もあり現在も発行継続中です。

さらぬま新聞への掲載案の提案をいただいた方々には感謝いたしております。ここまでコロナ禍の状態が長引くとは思っておりませんでした。今後の広報活動への期待、そしてご支援をよろしくお願いいたします。

(編集委員 増田 寄雄)



▲町会の情報満載！

地域で
つながろう

町会・自治会へ 加入しましょう

緊急事態宣言の発令により、感染拡大防止のため人の移動が制限されて、遠方で暮らす家族と自由に行き来することが難しい状況となりました。

特に地方から東京に出てきて働いているような場合ですと、帰省することも難しく、地元の高齢の親の様子に気がなることです。

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざのとおり、離れて暮らす親が町会・自治会に加入して地域で交流が持てていれば、お互いに安心することができるのではないのでしょうか。

あなたも町会・自治会に加入しませんか？

まずは町会・自治会の役員、または鹿浜区民事務所までお問い合わせください。



鹿浜地区の都住 建て替えの状況



▲建て替えが完了した鹿浜二丁目アパート。公園との緑の配置も美しい

鹿浜二丁目アパートの建て替え事業は、今年の2月に3期区分に入居が始まり、全10棟が揃いました。全戸揃えば430世帯になりますが、今は250世帯です。2期・3期区分の建物のまわりの植栽は今秋の予定、コミュニティ広場も公園も整備されました。広場や公園では、子ども達が遊んだり、散歩をしたりする人々の様子も見受けられるようになり、団地内も少しずつ活気が戻ってきたように思います。

上沼田第三アパートでは、1期区分の建物がずいぶん出来てきました。鹿浜五丁目アパートでも、1期区分の解体工事が始まります。また、谷在家アパートも、1期区分の転居が来年以降始まります。どの団地も、何年もかかる大事業です。すべてが完成するのが楽しみです。

(編集委員 豊岡 多恵子)



▲鹿浜五丁目アパート。解体工事準備中



▲上沼田第三アパート建設中

鹿浜センターが リニューアル オープンしました



▲悠々館もフロアに



▲ゆったりと明るい図書館



▲鹿浜区民事務所



▲正面玄関



このたび、鹿浜センターは大規模改修工事を終え、7月からリニューアルオープンいたしました。昨年からの長期の休館で、地域の皆様には大変ご不便だったことと思います。

新しくなった鹿浜センターをご紹介します。

入口を入って1階は、以前よりも明るく開放的な雰囲気になりました。図書館・住区センター・区民事務所・地域学習センター窓口があります。

また、1階に新たに授乳室が設けられましたので、お子様連れの方も安心してご利用いただけます。

2階に上がりますと、託児室、体育館やトレーニングルーム、学習室などがあります。

リニューアルしてきれいになった鹿浜センターにぜひ一度お越しください。



▲いくつもあるかわった形のすべり台（冒険の丘）

とねり 広い広い 舎人公園



今年の夏も猛暑、酷暑と大変な暑さでしたね。今回は舎人公園に足を向けてみました。

春は桜まつりで心うきうき、寒い冬からの開放感でいっぱいになります。

また、釣りのできる池、テニスコート、バーベキュー等、野鳥観察、散歩道としても最高！

広い公園の一角に冒険の丘が誕生しました。小学生の子どもたちの遊び場です。

登って、すべって、くぐって、すべり台も時代とともに変化していました。

また、新しい遊具の周りの地面はクッション性があり安心です。

暑さの中、子どもたちの笑い声も聞こえてきました。安心、安全な冒険の丘でした。

（編集委員 江川 せつ子）



人事異動

鹿浜地区の主な団体等の人事異動について報告します。

- 加賀町会
鈴木 彬夫 会長（令和3年2月14日就任）
- 北鹿浜第二都住自治会
西森 マリ子 会長（令和3年3月28日就任）
- 鹿浜東町会
関口 伸吾 会長（令和3年2月21日就任）
- 都営鹿浜五丁目団地自治会
渡邊 晃 会長（令和3年4月1日就任）
- 鹿浜第一小学校
中郡 英一 校長（令和3年4月1日着任）
- 皿沼小学校
加藤 雅弘 校長（令和3年4月1日着任）
- 鹿浜菜の花中学校
沖山 房人 校長（令和3年4月1日着任）
- 加賀中学校
森田 卓司 校長（令和3年4月1日着任）
- 鹿浜いきいき館
小橋 健志 館長（令和3年4月1日着任）

編集後記

▶コロナ禍の長い夏休み。泊まりに来ていた5歳の孫のセミ捕りにつき合わされ、舎人公園にも何度も遠征しました。アブラゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミそしてつくつく法師。去年の夏は一匹も捕れなかったすばしこいつくつく法師。今年孫が自身で捕ったつくつく法師は5匹。セミ捕りで成長を感じました。「つくつく法師鳴いたら終わる夏休み」の句のとおり孫の夏休みは終わり帰ってきました。孫よりも一生懸命にセミ捕りしていた自分に苦笑い。来年も孫とセミ捕りするぞー。

（副編集長 矢萩 敏隆）

▶コロナ禍のなかでの東京オリンピック・パラリンピック、緊急事態宣言、菅総理の退任表明、長雨と今年の夏

は話題や心配事が多くありました。東京オリンピック・パラリンピックは無観客での開催となり、テレビ観戦のみ。しかし、登場する選手たちは日頃鍛えた技を十分に発揮し、大きな感動を与えてくれました。町会・自治会では連年恒例の夏祭りや神社の祭りもほとんどが中止・延期になりました。こうして今年の夏は去りました。来年こそ、本来の姿を取り戻せるよう願ってやみません。

（編集長 野辺 慎一）

編集長 野辺 慎一
副編集長 矢萩 敏隆
委員 江川 せつ子、坂井 孝夫、豊岡 多恵子、
増田 寄雄、大滝 圭三
事務局 鹿浜区民事務所地域担当係長 合田 志津雄